

平成30年5月30日  
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

<b>標 題</b>	優良種子の安定生産、品質向上を目指して … 飯南町水稲採種組合 総会 …
------------	---

(ダイジェスト)

平成29年産水稲種子生産において、ほ場管理の部で2年連続して県知事表彰、生産物の部で最優秀賞、優秀賞を受賞し、売れる米の基本である優良な種子を生産している「飯南町水稲採種組合」の平成29年度総会が、平成30年5月25日に「レストハウスやまなみ」で開催され、組合員一致協力して採種栽培の基本技術を励行し、種子品質の改善と技術の高位平準化に取り組み、種子産地として優良な種子を引き続き生産することを確認した。普及部も様々な支援を引き続き行い、優良な水稲種子の生産を協力して進めていく。

平成29年産水稲種子生産において、ほ場管理の部で「島根県知事表彰」を2年連続で受賞、生産物の部では組合長が最優秀賞、組合員1名が優秀賞を受賞した飯南町水稲採種組合の平成29年度通常総会が、5月25日(金)にレストハウスやまなみで開催された。



議事では、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画などが承認された。

特に、「主要農作物種子法」が平成30年4月1日に廃止されたが、島根県においては優良な種子生産に向けて、今までどおりほ場審査などを実施されるので、当組合の責務として組合員一致協力して採種栽培の基本技術を励行し、種子品質の改善と技術の高位平準化に取り組み、種子産地として優良な種子を引き続き生産することを確認した。

また、優良な種子から生産された島根米の集荷、販売状況などについてJAしまねの担当者から、水稲苗の病害等について県農業技術センター担当者から情報提供があり、優良な種子生産の重要性について理解をさらに深めた。

当普及部も優良な水稲種子の生産を進めるため、様々な支援を引き続き行っていくこととする。